

Q8～Q16は、Q7で「受けたことがある」方にお伺いします。

あなたが「受けたことがある」Q7の(1)～(9)のセクハラの中で、もっとも不快に思った経験について教えてください。

Q8 それはどのようなセクハラでしたか。Q7の項目を参照して○をつけて下さい。(○は1つ)

- 1 言葉で
- 2 不快な性的行為で
- 3 性的な暴力行為で（強引に抱きつかれたり、……）
- 4 性的な暴力行為で（性的行為の強要、または未遂、など）
- 5 交際の強要で
- 6 性別役割の強要で
- 7 職場でまたは教育研究などの場で
- 8 教職員が女子の学生、大学院生に対して
- 9 不特定多数に対して

Q9 それは主にどのような状況で起こりましたか。(○は1つ)

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1 講義中、実験中    | 8 自習中、研究中             |
| 2 ゼミ中        | 9 研究会、学会やそれと関連した場     |
| 3 ゼミの合宿中、実習中 | 10 寮生活中               |
| 4 個人指導中      | 11 懇親会中、親睦会中          |
| 5 サークルの合宿中   | 12 大学や研究に関連した場からの帰宅途中 |
| 6 通常のサークル活動中 | 13 その他〔具体的に           |
| 7 学園祭中       | 〕                     |

Q10 それは主にどのような場所または手段で起こりましたか。(○は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 自分もしくは相手の自宅やアパート | 6 電話やEメールなどを通して |
| 2 教室               | 7 懇親会・親睦会の会場    |
| 3 研究室              | 8 帰宅途中の道端、公園など  |
| 4 車や乗り物の中          | 9 その他〔具体的に      |
| 5 ホテル              | 〕               |

Q11 そのときのあなたの立場を教えてください。(○は1つ)

- |        |                |            |
|--------|----------------|------------|
| 1 学部学生 | 2 大学院生（研究生を含む） | 3 その他〔具体的に |
|--------|----------------|------------|

Q12 そのときの相手の性別及び人数を教えてください。(○は1つ)

- |          |          |          |          |        |
|----------|----------|----------|----------|--------|
| 1 男性（1人） | 2 男性（複数） | 3 女性（1人） | 4 女性（複数） | 5 男女両方 |
|----------|----------|----------|----------|--------|

Q13 そのときの相手はどのような立場の人でしたか。複数のときは、該当するすべてを選んで下さい。  
(○はいくつでも)

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| 1 上級生や先輩   | 5 指導教員以外で同じ研究室・講座の教員 |
| 2 同級生      | 6 その他の教員             |
| 3 下級生      | 7 職員                 |
| 4 ゼミ等の指導教員 | 8 その他→〔具体的に          |

Q14 あなたは、それにどのように対応しましたか。(○は1つ)

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | イヤだとはっきり意思表示・抗議した |
| 2 | 無視した、避けた、逃げた      |
| 3 | それとなくイヤなことを伝えた    |
| 4 | 我慢した、従った          |
| 5 | その他 → [ 具体的に ]    |

Q15 あなたはそのことを誰かに相談しましたか。相談した相手が複数のときは、該当するすべてを選んで下さい。  
(○はいくつでも)

- |   |                    |    |                       |
|---|--------------------|----|-----------------------|
| 1 | 家族                 | 9  | 職員                    |
| 2 | 友人                 | 10 | 東京大学ハラスメント相談所         |
| 3 | 上級生や先輩             | 11 | 保健センター、学生相談所          |
| 4 | 同級生                | 12 | 部局相談員                 |
| 5 | 下級生                | 13 | 弁護士などの専門家や専門機関        |
| 6 | ゼミ等の指導教員           | 14 | その他 → [ 具体的に ]        |
| 7 | 指導教員以外で同じ研究室・講座の教員 | 15 | 誰にも相談しなかった            |
| 8 | それ以外の教員            |    | → なぜですか。Q15-1に進んで下さい。 |

(Q15で、「15 誰にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。)

Q15-1 相談しなかった、あるいは迷ったのはなぜですか。該当するものを2つまで選んで下さい。

(○は2つまで)

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | 相談した内容が外部に漏れるのではと思ったから        |
| 2 | 真剣に相談にのってくれないのではと思ったから        |
| 3 | 相談しても解決するとは思えなかったから           |
| 4 | 相談したことによって自分に不利益が生じるのではと思ったから |
| 5 | 相談する必要性を感じなかったから              |
| 6 | 相談することが苦痛だったから                |
| 7 | 相談することが恥ずかしかったから              |
| 8 | 話してもわかってもらえないと思ったから           |
| 9 | その他 → [ 具体的に ]                |

Q16 (Q15 あるいはQ15-1に続けてお聞きします。)その経験は、あなたにどのような影響をもたらしましたか。該当するすべてを選んで下さい。(○はいくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学に行きたくなくなった</li> <li>2 ゼミ・サークルをやめた</li> <li>3 クラブ活動やアルバイトなど、学業以外の活動が手につかなくなった</li> <li>4 大学で勉学・研究を続けていく自信がなくなった</li> <li>5 異性に対して不信感・嫌悪感・恐怖感を持つようになった、あるいは(加害者が同性の場合)同性に対して不信感・嫌悪感・恐怖感を持つようになった</li> <li>6 セクハラを容認する周囲に対して怒りを感じた</li> <li>7 自分にも落ち度があったと思い、自分を責めるようになった</li> <li>8 腹立たしく悔しかった</li> <li>9 不快だと言えなかった自分が情けなかった</li> <li>10 なぜ自分だけがこんな目にあうのかと思った</li> <li>11 体調を崩したり、眠れなくなった</li> <li>12 食行動に変調(食べられない、食べ過ぎる、吐くなど)をきたした</li> <li>13 イライラして攻撃的になった</li> <li>14 精神的に落ち込んだり、不安定になった</li> <li>15 死にたいと思ったり、自分を傷つけたくなった</li> <li>16 実際に自殺を図ったり、自傷行為をおこなった</li> <li>17 何もする気がなくなって引きこもった</li> <li>18 その他→[具体的に</li> <li>19 何も変化はなかった</li> </ol> | ] |
|--|---|

次のQ17からは全員が回答して下さい。

Q17 あなたがもしセクハラ被害を受けたら、学内の窓口(東京大学ハラスメント相談所または部局相談員)に相談すると思いますか。次の中から、1つだけ選んで下さい。(○は1つ)

1 東京大学ハラスメント 相談所に相談すると思う	2 部局相談員に相談 すると思う	3 相談しないと思う	4 迷うと思う
→ Q18へ			

**【説明】**

部局相談員とは、学部など各部局においてセクハラ苦情相談窓口を担う教職員を指します。一方、ハラスメント相談所は、部局から独立した全学の機関です。

(Q17で、3または4と答えた方にお聞きします。)

Q17-1 相談しない、あるいは迷うのはなぜですか。該当するものを2つまで選んで下さい。(○は2つまで)

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 たとえ被害にあったとしても誰かに相談するまでの被害にはならないと思うから</li> <li>2 相談したことで加害者の反感を買い、かえって自分に不利益が生じると思うから</li> <li>3 相談することが恥ずかしいから</li> <li>4 真剣に相談にのってくれないのではと思うから</li> <li>5 自分に起こったことが相談していい内容か不安になると思うから</li> <li>6 ハラスメント相談所に解決能力がないと思うから</li> <li>7 部局相談員に解決能力がないと思うから</li> <li>8 ハラスメント相談所に相談したら相談した内容が外部に漏れるのではないかと思うから</li> <li>9 部局相談員に相談したら相談した内容が外部に漏れるのではないかと思うから</li> <li>10 忙しくて相談する時間がなさそうだから</li> <li>11 その他 → (具体的に</li> </ol> | ) |
|---|---|

(全員の方にお聞きします。)

Q18 セクハラ防止のために大学が取り組むべきこととして、緊急あるいは重要と思うものを3つまで選んで下さい。(○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1 講演会など、セクハラに関する学内での啓発を進める               |
| 2 セクハラ相談窓口があることの宣伝を強めたり、Q&Aなどを作成し、周知徹底する |
| 3 セクハラに関する教育を学生のカリキュラムや教職員の研修の中に組み込む     |
| 4 専門的な知識・経験を持った相談員の増員など相談窓口を充実する         |
| 5 被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を拡充する             |
| 6 教官や管理職員などが率先してセクハラ防止に努める               |
| 7 教官や管理職員を対象とする研修を実施する                   |
| 8 女性教員を増やす                               |
| 9 女性職員の登用を進める                            |
| 10 人権やジェンダー問題に関する啓発を進める                  |
| 11 法律的な専門家による相談が受けられる窓口をつくる              |
| 12 その他 → (具体的に )                         |

【説明】

ジェンダーとは、生物学的意味での性差ではなく、社会的文化的に規定された男/女の性別を意味します。性別役割分業や「女らしさ」「男らしさ」もジェンダーに関わるものです。

Q19 ハラスメント相談所について知っていることを選んで下さい。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1 本郷の安田講堂に相談所があること                               |
| 2 駒場の8号館にも相談所があること                               |
| 3 外部相談員がいること (注:外部相談員とは特定部局に属さない専任相談員を指します)      |
| 4 男女の相談員がいること                                    |
| 5 教職員も利用できること                                    |
| 6 救済措置を求める「申し立て」をハラスメント防止委員会に対して出来ること            |
| 7 加害者との調停を求める「申し立て」をハラスメント防止委員会に対して出来ること         |
| 8 相手方に苦情が出ている事を伝える通知の「申し立て」をハラスメント防止委員会に対して出来ること |
| 9 セクハラ被害からの回復のためのカウンセリングが受けられること                 |
| 10 問題解決に有効な対策を立てる総合的サポートを受けられること                 |
| 11 いずれも知らない                                      |

大学院生・研究生の方はQ20に、学部学生の方はQ22に進んで下さい。

Q20 主に大学などの学問研究の場におけるジェンダーに関わるアカデミック・ハラスメント（以下「アカハラ」と略す）が話題となっていますが、あなた自身が以下のようなことを思ったり、それによって何らかの不利益を受けたことがありますか。a)～i)のそれぞれについて該当するすべてに○をつけて下さい。（○はそれぞれいくつでも）

	そう思う	そうは思わない	それによって何らかの不利益を受けた	わからない
a) 研究室やゼミ・サークルに男性が多く威圧感がある	1	2	3	4
b) 教授や研究科長など重要ポストには男性ばかりがっている	1	2	3	4
c) 就職・昇進や研究発表の機会は男性が優先されている	1	2	3	4
d) 就職・昇進や研究発表の機会は女性が優先されている	1	2	3	4
e) 「女性は結婚したら就職の世話や経済的な心配をしなくていいから気楽だ」などと言う人がある	1	2	3	4
f) 「君は男で家族を養う立場なんだから、もっとしっかり研究（仕事）しろ」などと言う人がある	1	2	3	4
g) 「結婚や子どもは研究（仕事）の妨げになる（からするな、産むな）」などと言う人がある	1	2	3	4
h) 「家事・育児は女性に任せて、男は研究（仕事）に専念すべきだ」などと言う人がある	1	2	3	4
i) 男性の視点で意思決定されている事柄が多い	1	2	3	4

大学としての今後の対応の参考のために、次の事項についてご意見をお聞かせ下さい。秘密は厳守します。

Q21 以上の他に、ジェンダーに関わるか否かを問わずアカデミック・ハラスメントを経験したことがあれば、以下の該当欄にできるだけ詳しく記入して下さい。

--

ここからは、全員が回答して下さい。

Q22 あなたは大学の外（就職活動中やアルバイト先など）で東京大学構成員または関係者ではない相手からのセクハラを経験したことがありますか。（○は1つ）

1 ある    2 ない

Q23 あなたが、学内や学外で経験したセクハラやアカハラ（Q21参照）について、①どのように対処し、その結果はどうであったか、②これまでの質問項目では言い尽くせなかった被害の経験などを、以下の該当欄にできるだけ詳しく記入して下さい。

--

Q24 大学におけるセクハラやアカハラ、または本調査についてご意見がありましたら、以下の該当欄に自由に記入して下さい。

--

最後に、あなた自身のことについて教えてください。

F 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1 女性	2 男性	3 その他 ( )
------	------	-----------

F 2 あなたの所属を教えてください。(○は1つ)

1 法学部・法学政治学研究科	6 農学部・農学生命科学研究科	11 数理科学研究科
2 医学部・医学系研究科	7 経済学部・経済学研究科	12 新領域創成科学研究科
3 工学部・工学系研究科	8 教養学部・総合文化研究科	13 情報学環・学際情報学府
4 文学部・人文社会系研究科	9 教育学部・教育学研究科	14 情報理工学系研究科
5 理学部・理学系研究科	10 薬学部・薬学系研究科	15 その他 ( )

F 3 あなたはどの課程にいますか。(○は1つ)

1 学部学生	2 大学院生、研究生
--------	------------

F 4 あなたは留学生ですか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

F 5 あなたの出身高校の種類を教えてください。(○は1つ)

1 女子校	2 男子校	3 共学校	4 その他 ( )
-------	-------	-------	-----------

---

---

Q25 この調査をまとめるにあたって、あなたが経験されたセクハラについて、詳しいお話を伺いたいときは、お許しただけででしょうか。もしさしつかえなければ、こちらからご連絡させていただくかもしれませんので、お名前、電話番号、メールアドレスをお書き下さい。なお、あなたのプライバシーを侵害するようなことは決してありませんので、ご安心下さい。

(お名前 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_)

---

---

●以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、7月18日(月)までに投函して下さい。

## セクシュアル・ハラスメントに関するアンケート調査

◎ 記入したアンケートは、同封の返信用封筒に入れて厳封し、7月18日(月)までに投函して下さい。

◎ 返信は東京大学人事部気付、東京大学ハラスメント防止委員会アンケート調査小委員会へお願いいたします。

### 質問等問合わせ先

東京大学人事部職員課勤務環境チーム  
(担当) 米山 TEL 03-5841-2037  
大木 TEL 03-5841-2171

### ● 記入にあたってのお願い

- ・ Q1から順にお答え下さい。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、矢印や指示にしたがってお進み下さい。
- ・ 回答は、質問ごとに用意してある答えの中からあてはまるものの番号に○をつけて下さい。
- ・ 「その他」を選んだ場合は、その番号に○をつけたうえ、( )内あるいは余白にその具体的な内容をご記入下さい。
- ・ 回答は(○は1つ)(○は2つまで)(○はいくつでも)など末尾で指定された範囲でお答え下さい。

Q1 大学におけるセクシャル・ハラスメント(以下、セクハラと略す)の問題は重要だと思いますか。

(○は1つ)

1	2	3	4	5
非常に重要である	重要である	あまり重要でない	誇張されている	わからない

Q2 セクハラ問題について、あなたはどこで情報や知識を得ましたか。該当するものに○をつけて下さい。

(○はいくつでも)

1 専門的な雑誌や専門書などで	8 学内のポスターで
2 新聞や週刊誌、総合雑誌などで	9 学内広報で
3 テレビやラジオなどで	10 東京大学が発行したリーフレットで
4 高校や大学の授業で	11 東京大学のホームページで
5 講演会などの催しで	12 その他〔具体的に
6 友人との会話で	13 今までに聞いたことがない
7 家族との会話で	

Q 3 あなたは、東京大学がセクハラ防止に取り組んでいることを知っていましたか。(○は1つ)

1 よく知っていた	2 漠然と知っていた	3 知らなかった
		↳ Q 4 へ

Q 3-1 (Q 3で1または2と答えた方にお聞きます。)それは、何で知りましたか。(○はいくつでも)

1 学内のポスターで	6 会議の場で
2 学内広報で	7 ガイダンスおよび研修で
3 東京大学が発行したリーフレットで	8 その他 (具体的に
4 友人、知人から聞いて	)
5 東京大学のホームページで	

Q 4 あなたは以下のような行為についてどう感じますか。a) ~ j) のそれぞれについて、該当するものに1つずつ○をつけて下さい。(○はそれぞれ1つずつ)

	セクハラになる	繰り返し行われればセクハラになる	セクハラではない	わからない
a) 酒席で隣に座るように言う	1	2	3	4
b) 容姿、体型、年齢、服装、化粧などについて話題にする	1	2	3	4
c) 恋人の有無、婚姻関係、子どもの有無など私生活について尋ねる	1	2	3	4
d) 仕事や研究に関わらない内容の長文メールを毎日のように送信する	1	2	3	4
e) 胸やお尻、足など身体の一部をじっと見つめる	1	2	3	4
f) パソコン操作を教える際、マウスの上から手を乗せる	1	2	3	4
g) 「女は愛嬌があったほうがいい」「男ならしっかりしろ」などと言う	1	2	3	4
h) 食事やデートに誘う	1	2	3	4
i) 水着写真や性的画像をパソコンの壁紙やスクリーンセーバーとして設定する	1	2	3	4
j) 上半身裸や下着に近い格好で歩き回る	1	2	3	4

**【説明】**

「セクシュアル・ハラスメント (セクハラ)」とは、他の人を不快にさせる性的な言動です。性的な言動はさまざまであり、性的な欲求や関心に基づく言動だけでなく、性別役割分担意識に基づく言動も含まれます。不快かどうかは、相手の認識にかかっています。



Q 5 セクハラに関するあなたの率直なご意見をお聞かせ下さい。a)～i)のそれぞれについて、該当するものに1つずつ○をつけて下さい。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	正直そういう気持ちもある	どちらとも言えない(わからない)	そうは思わない
a) 性的なジョークや話題を規制すると、人間関係が窮屈になる	1	2	3	4
b) 生活の中で「女らしさ」や「男らしさ」はあって当然なもの	1	2	3	4
c) さまざまな能力・適性において、男女差はある	1	2	3	4
d) 相手が女性か男性かで、おのずと(仕事や研究への)期待や要求に違いがでてくる	1	2	3	4
e) セクハラ行為は受ける側にも責任がある	1	2	3	4
f) 異性関係で、男性が多少強引になるのは仕方がない	1	2	3	4
g) 自分の好意を「セクハラ行為」と受け取られたら不快で、腹が立つ	1	2	3	4
h) 誤解やぬれ衣、悪意で、セクハラの原因が増えないか心配だ	1	2	3	4
i) できれば「セクハラ」などの問題には係わり合いたくない	1	2	3	4

Q 6 もしあなたが、役付きの教員もしくは上司である職員から次のような行為をされた場合、どのように対応するでしょうか。想像で構いませんのでお答え下さい。a)～d)のそれぞれについて、該当するものに1つずつ○をつけて下さい。(○はそれぞれ1つずつ)

	イヤだとはっきり意思表示・抗議する	無視する 避ける 逃げる	それとなくイヤなことを伝える	我慢する 従う
a) 「性的な話題」や「性による決めつけ」や「差別的発言」に不快感を感じた場合	1	2	3	4
b) 望んでいないのに食事や映画などの個人的な誘いをうけた場合	1	2	3	4
c) 手を握られたり、腰や肩に手を回されたり、必要以上になれなれしくされた場合	1	2	3	4
d) 「セクハラ行為」を拒否、抗議して、逆に非難(攻撃・報復)された場合	1	2	3	4

Q7 あなたは東京大学、またはそれに準じた場（サークルやゼミのコンパ、学会など）で、大学の構成員（教職員・院生・学生）または関係者から、次のようなセクハラ行為を受けたことがありますか。または、そのような行為を目撃したり、見聞したり、相談を受けたことがありますか。(1)～(9)のそれぞれについて、該当するすべてに○をつけて下さい。(○はそれぞれいくつでも)

	受けたことがある	目撃したことがある	相談を受けたことがある	聞いたことがある	見聞したことはない
(1) 言葉で 容姿・体型・服装・年齢・化粧などをことのほか話題にされた、望まない性的な話題や猥談を聞かされた、など。	1	2	3	4	5
(2) 不快な性的行為で いやらしい目つきで身体を見られたり、了解なく写真を撮られた、性的経験（の有無）や私生活を詮索されたり、噂を流された、必要以上に近づかれたり、なれなれしい態度をされた、手、足、髪、肩、腰に触れられた、など。	1	2	3	4	5
(3) 性的な暴力行為で 強引に抱きつかれたり、胸を触られたり、キスをされた、トイレや更衣室などを覗かれた、盗撮された、など。	1	2	3	4	5
(4) 性的な暴力行為で 性的行為の強要、または未遂、など。	1	2	3	4	5
(5) 交際の強要で 食事や映画にしつこく誘われた、しつこく電話やメールをされた、自宅に押しかけられた、つきまとわれた、など。	1	2	3	4	5
(6) 性別役割の強要で お茶くみやお酌をさせられた、カラオケでデュエットを強要された、酒席などで席順を強制された、準備・後片付けなどを特定の性別にのみさせた、「女の子」扱いした、「男のくせに」「女のくせに」などと言った、など。	1	2	3	4	5
(7) 職場でまたは教育研究などの場で 「女性は昇進しなくてもよい」「女性はどうせ結婚すれば辞めるから、責任のある仕事は任せられない」などと言った、性別の違いで仕事や研究条件に関して態度を変えた、など。	1	2	3	4	5
(8) 教職員が女子の学生、大学院生に対して 「女性が勉強してどうする」「どうせ女性は結婚すれば仕事をやめるから、職探しも適当でいい」などと言った、性別の違いで研究指導や就職・進路相談の態度を変えた、など。	1	2	3	4	5
(9) 不特定多数に対して 人前で着替えた、人前で裸で歩いたり走ったりした、性的に不快な言葉や写真などを提示した、部室や研究室にヌードカレンダーやポルノ雑誌などを目に触れるように置いた、パソコンやインターネットを通じてヌード写真やポルノ写真を見ていた、など。	1	2	3	4	5



【(1)～(9)で「1 受けたことがある」に1つでも○をつけた方はQ8へ、それ以外の方は7頁のQ17に進んで下さい。】

Q8～Q16は、Q7で「受けたことがある」方にお伺いします。

あなたが「受けたことがある」Q7の(1)～(9)のセクハラの中で、もっとも不快に思った経験について教えてください。

Q8 それはどのようなセクハラでしたか。Q7の項目を参照して○をつけて下さい。学生・院生時代の経験は除きます。(○は1つ)

- 1 言葉で
- 2 不快な性的行為で
- 3 性的な暴力行為で(強引に抱きつかれたり、……)
- 4 性的な暴力行為で(性的行為の強要、または未遂、など)
- 5 交際の強要で
- 6 性別役割の強要で
- 7 職場でまたは教育研究などの場で
- 8 教職員が女子の学生、大学院生に対して
- 9 不特定多数に対して

Q9 それは主にどのような状況で起こりましたか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 通常の勤務時間中        | 6 授業中、実験中         |
| 2 出張中             | 7 職場や親睦会会場からの帰宅途中 |
| 3 研修中             | 8 その他〔具体的に        |
| 4 研究会や学会やそれと関連した場 | 〕                 |
| 5 懇親会、親睦会中        |                   |

Q10 それは主にどのような場所または手段で起こりましたか。(○は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 自分もしくは相手の自宅やアパート | 6 電話やEメールなどを通して |
| 2 教室               | 7 懇親会・親睦会の会場    |
| 3 研究室              | 8 帰宅途中の道端、公園など  |
| 4 車や乗り物の中          | 9 その他〔具体的に      |
| 5 ホテル              | 〕               |

Q11 そのときのあなたの立場を教えてください。(○は1つ)

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1 教授、助教授、専任講師 | 5 事務系職員   |
| 2 助手、教務職員     | 6 技術系職員   |
| 3 非常勤講師       | 7 非常勤職員   |
| 4 医療関係職員      | 8 研究員、研修員 |

Q12 そのときの相手の性別及び人数を教えてください。(○は1つ)

- |          |          |          |          |        |
|----------|----------|----------|----------|--------|
| 1 男性(1人) | 2 男性(複数) | 3 女性(1人) | 4 女性(複数) | 5 男女両方 |
|----------|----------|----------|----------|--------|

Q13 そのときの相手はどのような立場の人でしたか。複数のときは、該当するすべてを選んで下さい。  
(○はいくつでも)

(あなたが教員＝教授・助教授・講師・助手・教務職員の場合)

1 役付若しくは年長の教員、教諭	4 学生、大学院生
2 同僚である教員、教諭	5 その他〔具体的に
3 職員	〕

(あなたが教員以外の場合)

6 上司である職員	9 教員
7 同僚である職員	10 学生、大学院生
8 部下である職員	11 その他→〔具体的に
	〕

Q14 あなたは、それにどのように対応しましたか。(○は1つ)

1 イヤだとはっきり意思表示・抗議した
2 無視した、避けた、逃げた
3 それとなくイヤなことを伝えた
4 我慢した、従った
5 その他 →〔具体的に
〕

Q15 あなたはそのことを誰かに相談しましたか。相談した相手が複数のときは、該当するすべてを選んで下さい。(○はいくつでも)

1 家族	8 部局相談員
2 友人	9 弁護士などの専門家や専門機関
3 上司	10 教職員組合
4 同性の同僚	11 その他→〔具体的に
5 異性の同僚	12 誰にも相談しなかった
6 東京大学ハラスメント相談所	→ なぜですか。Q15-1 に進んで下さい。
7 保健センター、学生相談所	

(Q15で、「12 誰にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。)

Q15-1 相談しなかった、あるいは迷ったのはなぜですか。該当するものを2つまでを選んで下さい。  
(○は2つまで)

1 相談した内容が外部に漏れるのではと思ったから
2 真剣に相談にのってくれないのではと思ったから
3 相談しても解決するとは思えなかったから
4 相談したことによって自分に不利益が生じるのではと思ったから
5 相談する必要性を感じなかったから
6 相談することが苦痛だったから
7 相談することが恥ずかしかったから
8 話してもわかってもらえないと思ったから
9 その他→〔具体的に
〕

Q16 (Q15 あるいはQ15-1に続けてお聞きします。) その経験は、あなたにどのような影響をもたらしましたか。該当するすべてを選んで下さい。(○はいくつでも)

- 1 職場に行きたくなくなった
- 2 仕事の能率が落ちた
- 3 転勤や退職をしたくなった
- 4 大学で研究や仕事を続けていく自信がなくなった
- 5 異性に対して不信感・嫌悪感・恐怖感を持つようになった、あるいは(加害者が同性の場合)同性に対して不信感・嫌悪感・恐怖感を持つようになった
- 6 セクハラを容認する周囲に対して怒りを感じた
- 7 自分にも落ち度があったと思い、自分を責めるようになった
- 8 腹立たしく悔しかった
- 9 不快だと言えなかった自分が情けなかった
- 10 なぜ自分だけがこんな目にあうのかと思った
- 11 体調を崩したり、眠れなくなった
- 12 食行動に変調(食べられない、食べ過ぎる、吐くなど)をきたした
- 13 イライラして攻撃的になった
- 14 精神的に落ち込んだり、不安定になった
- 15 死にたいと思ったり、自分を傷つけたくなくなった
- 16 実際に自殺を図ったり、自傷行為をおこなった
- 17 何もする気がなくなって引きこもった
- 18 その他 → [具体的に
- 19 何も変化はなかった

次のQ17からは全員が回答して下さい。

Q17 あなたがもしセクハラ被害を受けたら、学内の窓口(東京大学ハラスメント相談所または部局相談員)に相談すると思いますか。次の中から、1つだけ選んで下さい。(○は1つ)

1	2	3	4
東京大学ハラスメント 相談所に相談すると思う	部局相談員に相談 すると思う	相談しないと思う	迷うと思う
→ Q18へ			

**【説明】**

部局相談員とは、学部など各部局においてセクハラ苦情相談窓口を担う教職員を指します。一方、ハラスメント相談所は、部局から独立した全学の機関です。

(Q17で、3または4と答えた方にお聞きします。)

Q17-1 相談しない、あるいは迷うのはなぜですか。該当するものを2つまで選んで下さい。

(○は2つまで)

- 1 たとえ被害にあったとしても誰かに相談するまでの被害にはならないと思うから
- 2 相談したことで加害者の反感を買い、かえって自分に不利益が生じると思うから
- 3 相談することが恥ずかしいから
- 4 真剣に相談にのってくれないのではと思うから
- 5 自分に起こったことが相談していい内容か不安になると思うから
- 6 ハラスメント相談所に解決能力がないと思うから
- 7 部局相談員に解決能力がないと思うから
- 8 ハラスメント相談所に相談したら相談した内容が外部に漏れるのではないかとと思うから
- 9 部局相談員に相談したら相談した内容が外部に漏れるのではないかとと思うから
- 10 忙しくて相談する時間がなさそうだから
- 11 その他 → (具体的に

(全員の方にお聞きします。)

Q18 セクハラ防止のために大学が取り組むべきこととして、緊急あるいは重要と思うものを3つまで選んで下さい。(○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1 講演会など、セクハラに関する学内での啓発を進める               |
| 2 セクハラ相談窓口があることの宣伝を強めたり、Q&Aなどを作成し、周知徹底する |
| 3 セクハラに関する教育を学生のカリキュラムや教職員の研修の中に組み込む     |
| 4 専門的な知識・経験を持った相談員の増員など相談窓口を充実する         |
| 5 被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を拡充する             |
| 6 教員や管理職員などが率先してセクハラ防止に努める               |
| 7 教員や管理職員を対象とする研修を実施する                   |
| 8 女性教員を増やす                               |
| 9 女性職員の登用を進める                            |
| 10 人権やジェンダー問題に関する啓発を進める                  |
| 11 法律的な専門家による相談が受けられる窓口をつくる              |
| 12 その他 → (具体的に )                         |

**【説明】**

ジェンダーとは、生物学的意味での性差ではなく、社会的文化的に規定された男/女の性別を意味します。性別役割分業や「女らしさ」「男らしさ」もジェンダーに関わるものです。

Q19 ハラスメント相談所について知っていることを選んで下さい。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1 本郷の安田講堂に相談所があること                               |
| 2 駒場の8号館にも相談所があること                               |
| 3 外部相談員がいること (注: 外部相談員とは特定部局に属さない専任相談員を指します)     |
| 4 男女の相談員がいること                                    |
| 5 教職員も利用できること                                    |
| 6 救済措置を求める「申し立て」をハラスメント防止委員会に対して出来ること            |
| 7 加害者との調停を求める「申し立て」をハラスメント防止委員会に対して出来ること         |
| 8 相手方に苦情が出ている事を伝える通知の「申し立て」をハラスメント防止委員会に対して出来ること |
| 9 セクハラ被害からの回復のためのカウンセリングが受けられること                 |
| 10 問題解決に有効な対策を立てる総合的サポートを受けられること                 |
| 11 いずれも知らない                                      |

Q20 主に大学などの学問研究の場におけるジェンダーに関わるアカデミック・ハラスメント（以下「アカハラ」と略す）が話題となっていますが、あなた自身が以下のようなことを思ったり、それによって何らかの不利益を受けたことがありますか。 a) ～i) のそれぞれについて該当するすべてに○をつけて下さい。（○はそれぞれいくつでも）

	そう思う	そうは思わない	それによって何らかの不利益を受けた	わからない
a) 職場やゼミ・サークルに男性が多く威圧感がある	1	2	3	4
b) 教授や研究科長など重要ポストには男性ばかりがついている	1	2	3	4
c) 就職・昇進や研究発表の機会は男性が優先されている	1	2	3	4
d) 就職・昇進や研究発表の機会は女性が優先されている	1	2	3	4
e) 「女性は結婚したら就職の世話や経済的な心配をしなくていいから気楽だ」などと言う人がいる	1	2	3	4
f) 「君は男で家族を養う立場なんだから、もっとしっかり研究（仕事）しろ」などと言う人がいる	1	2	3	4
g) 「結婚や子どもは研究（仕事）の妨げになる（からするな、産むな）」などと言う人がいる	1	2	3	4
h) 「家事・育児は女性に任せて、男は研究（仕事）に専念すべきだ」などと言う人がいる	1	2	3	4
i) 男性の視点で意思決定されている事柄が多い	1	2	3	4

大学としての今後の対応の参考のために、次の事項についてご意見をお聞かせ下さい。秘密は厳守します。

Q21 以上の他に、ジェンダーに関わるか否かを問わずアカデミック・ハラスメントを経験したことがあれば、以下の該当欄にできるだけ詳しく記入して下さい。

Q22 あなたが、学内や学外で経験したセクハラやアカハラ（Q21 参照）について、①どのように対処し、その結果はどうであったか、②これまでの質問項目では言い尽くせなかった被害の経験などを、以下の該当欄にできるだけ詳しく記入して下さい。学生・院生時代の経験は除いてください。

Q23 大学におけるセクハラやアカハラ、または本調査についてご意見がありましたら、以下の該当欄に自由に記入して下さい。

最後に、あなた自身のことについて教えてください。

F 1 あなたの性別を教えてください。（○は1つ）

1 女性	2 男性	3 その他（                      ）
------	------	-------------------------------

F 2 現在のあなたの身分を教えてください。（○は1つ）

1 教授、助教授、専任講師	4 医療関係職員	7 非常勤職員
2 助手、教務職員	5 事務系職員	8 研究員、研修員
3 非常勤講師	6 技術系職員	9 その他（                      ）

---

---

Q24 この調査をまとめるにあたって、あなたが経験されたセクハラについて、詳しいお話を伺いたいときは、お許しいただけるでしょうか。もしさしつかえなければ、こちらからご連絡させていただくかもしれませんので、お名前、電話番号、メールアドレスをお書き下さい。なお、あなたのプライバシーを侵害するようなことは決してありませんので、ご安心下さい。

（お名前                                      電話番号                                      メールアドレス                                      ）

---

---

●以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、7月18日（月）までに投函して下さい。



# ハラスメント防止委員会アンケート調査小委員会

委員長 秋山弘子（大学院人文社会系研究科教授）

委員 水町勇一郎（社会科学研究所助教授）

事務担当 人事部職員課勤務環境チーム

この「学内広報」の記事を転載・引用する場合には、事前に広報委員会の了承を得、掲載した刊行物若干部を広報委員会までお送りください。なお、記事についての問い合わせ及び意見の申し入れは、総務部広報課を通じて行ってください。

No. 1332 2006年3月15日

## 東京大学広報委員会

〒113-8654

東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学総務部広報課

TEL：03-3811-3393

e-mail：kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

<http://www.u-tokyo.ac.jp>